

芸術の秋意欲作499点

県美本館・分館 第70回県美展が開幕



会場には、第70回記念県美大賞を受賞した石川美由紀さんの「紫陽花が咲く頃」(右)など約500点が並んだ＝熊本市中央区

第70回記念県美展(県美術協会主催)が15日、熊本市中央区の県立美術館本館(洋画)、分館(その他の画)で始まった。21日まで。一般公募の入賞・入選233点に、会員・会友の作品を加えた力作499点が並び、芸術の秋の幕開けを告げる。

同協会は1946年、美術文化の発展を願う在熊作家によって創設され、第1回展が開かれた。70回記念となる一般公募には日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、デザインの6部門に272人から341点が寄せられた。

グランプリの第70回記念県美大賞に選ばれた石川美由紀さん(24)の日本画「紫陽花が咲く頃」は、鮮やかなアジサイに囲まれた女性を繊細な筆致で描き、吸い込まれるような透明感がある。第70回記念賞を受賞した富永健斗さん(24)の彫刻

「風情」は伸びやかな人体造形がみずみずしい。

本館であった開会式で堀晋吾会長は「終戦直後、20人の作家たちが立ち上げた同展もここまで会を重ねてきた」とあいさつ。70年記念事業として、23、27日には選抜作品の水俣巡回展(水俣市のもやい館)も開かれる。(小野由起子)